

## VI 生涯学習課

### 1 庶務係

#### 蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	佐 藤 茂
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	蜂須賀 稔
委 員	後 藤 尚 人
委 員	木 下 眞 吾
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	加 藤 俊 男
委 員	伊 藤 満

(敬称略)

#### (1) 社会教育委員の活動状況

##### ① 社会教育委員会議の開催状況

###### 社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会（年2回開催6月・11月）
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐

##### ② 会議の運営状況

平成30年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 など
平成30年6月5日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 平成29年度事業報告について ア 生涯学習課事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 平成30年度事業計画について ア 生涯学習課事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について
開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 など
平成30年11月21日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 平成30年度事業中間(上半期4月～9月)報告について ア 生涯学習課事業中間報告について

	イ 図書館事業中間報告について 2 平成31年度事業計画(案)について ア 生涯学習課事業計画(案)について イ 蟹江町図書館事業計画(案)について
--	---

## 2 生涯学習係

### (1) 公民館事業

講座・各種教室の開催（平成30年度実績）

#### ① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
若者交流カフェ教室	6回	20人	14人
親父の料理教室	4回	各24人	17人、23人、20人、15人
初めての和菓子づくり教室	2回	16人	23人
骨盤健康教室	4回	初級20人 中級20人	初級23人、中級18人
美しいボールペン字・筆ペン字教室	4回	15人	15人

#### ② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

#### 〔点検・評価〕

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。講座内容については、参加者に対するアンケート調査を実施し、町民のニーズに応えられるような講座内容とした。

今後も、状況を把握しながら取り組んでいきたい。

### (2) 家庭教育・人権教育

#### ① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	20組40人	11組24人	蟹江中央公民館
親と子の料理教室	1回	12組24人	12組24人	蟹江中央公民館分館
ちょこっと探検隊	1回	20組40人	8組16人	愛知県防災航空隊 リニア鉄道館
親子キャンプ教室	1回	70人	※台風接近に伴い事業中止	

〔点検・評価〕

親と子の料理教室は、昨年に引き続き人気のキャラクターを題材にしたので、申込者が多く抽選となった。今後もニーズに合ったものを取り入れていくことが必要である。

親子キャンプ教室については、平成26年度から、つぐ高原グリーンパークで事業を行っており、毎回、申込者数も多く抽選となっている。今回は、台風接近により参加者の安全を考えた結果、事業を中止とした。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室	1回	15人	14人	蟹江中央公民館
楽しい工作教室	2回	各15人	28人、21人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	24人	蟹江中央公民館
木工体験教室	2回	各15人	13人、16人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：平成31年1月13日(日) 対象者：400人 参加者：329人

③ 沖縄県読谷村中学生交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をおし、伝統・文化を学ぶ。

派遣日：平成30年8月21日(火)～24日(金)

募集人員：12人

参加者：13人 ※今回は台風により、通常より1日、延泊となった。

④ 青少年健全育成運動

開催日：平成30年7月26日(木)、平成30年11月28日(水)

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

子ども体験教室は、今回は「実験」をテーマに開催した。内容は鉄粉を混ぜたスライムや磁石を作り、それを使ったゲームを行った。今後も子どもたちの探究心を育てていける内容及び教室づくりに努めていく必要がある。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることもあり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

生涯学習課事業として2年目となる中学生交流事業は、読谷村内の中学生や住民と交流を図り、特に30年度は日程の中に、旧海軍指令部豪の見学を取り入れ、沖縄県の歴史、文化、平和学習を行うことができた。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9部門 48団体 582人 補助金1,103,700円

② 蟹江町婦人会

婦人（女性）の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 16,315世帯 補助金1,227,000円

③ 蟹江町小・中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小・中学校 2,866人 交付金1,305,440円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 平成30年7月1日(日)
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

○生涯学習文化交流会

海東流神楽太鼓保存会

沖縄県読谷村 波平伝統芸能保存会 入場者 455人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 平成30年11月3日(土)・4日(日)  
展示の部 1,739人  
芸能の部 394人
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、沖縄県読谷村の芸能団体を招待し開催した。今回は波平伝統芸能の「獅子舞」、蟹江町は海東流神楽太鼓を披露した。アンケートの結果、多くの来場者が満足する結果となった。大会の周知方法が今後の課題として挙げられたため、この点を改善し次回の大会に繋げていきたい。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数 306日

入館者数 16,476人(574人)

1日当たり 54人

〔点検・評価〕

平成30年度は、特別展や企画展などの事業を前年度より充実させて行ったことや、5月に観光交流センター「祭人(さいと)」がオープンし、「祭人」と併せて見学に町外から来られる方が多くなったことから、29年度に比べ入館者数が大幅に増加した。今後も魅力ある展示や講座を実施することで、多くの方に来ていただけるようにしていきたい。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,252点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

黒川紀章作版画額装 1点

野口雨情 二行書 1点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料21点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

平成30年度においては、購入資料2点、寄贈資料21点、合計23点の資料を収蔵した。購入資料については、町民の方の理解を得るため、定期的に公開をしている。資料の寄贈・寄託については、持ち主の方から資料館の役割についての理解と信頼をいただくことが必要であるため、期待に沿えるような活動を行わなくてはならない。

ただ、ここ数年、資料の数は増加しており、収容力不足となりつつある。この現状をいかに解消するのかが課題となっている。また、収蔵資料は保管するだけでなく、整理した情報をデータ化し、調査・研究のために活用しやすい状態にしておくことが大切である。資料保存のための周辺設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

### (3) 展示

#### ① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。さらに、購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えることで、常設展示の充実を図った。

#### ② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

##### ア 特別展

- ・「郷土の文化人のあしあと」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成30年11月3日(土)～12月2日(日) 来館者数1,120人

- ・「蟹江絵はがきコレクション～明治・大正・昭和をみる～」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成31年1月26日(土)～3月10日(日) 来館者数2,758人

##### イ 企画展

- ・「川と水に育まれたまちかにえ」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成30年5月12日(土)～7月15日(日) 来館者数2,920人

- ・「航空写真と古地図で見る蟹江」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 平成30年6月14日(金)～6月21日(木)

- ・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 平成30年8月22日(水)～9月9日(日)

- ・「須成祭稚児衣装製作写真展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 平成30年7月18日(水)～8月19日(日)

- ・「蟹江の秋祭り写真展」

展示場所 ①産業文化会館 1階ロビー

②観光交流センター祭人 多目的室

展示期間 ①平成30年9月22日(土)～10月10日(水)

②平成30年9月28日(金)～10月10日(水)

- ・ミニ企画展「伊勢神宮えと守展」

展示場所 歴史民俗資料館 企画展示室前

展示期間 平成30年12月22日(土)～平成31年1月31日(木)

- ・ミニ企画展「土鈴の郷土びな」

展示場所 歴史民俗資料館 受付横

展示期間 平成31年2月2日(土)～3月10日(日)

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料などを調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

平成30年度は、特別展2回と企画展7回を開催し、しかも「蟹江の秋祭り写真展」では2つの会場で同時開催するなど精力的に展示活動を行った。ウォーキングイベント開催時期と特別展・企画展との期間を重ねたり、観光交流センター祭人と相互協力したりすることで、町民はもとより、町外から蟹江町を訪れる方に対し蟹江の歴史・文化を発信することができた。

特別展・企画展を開催することで、調査・研究の成果を示すことができるだけでなく、リピーターを増やす効果も期待できる。今後も継続的に実施して資料館活動を充実させていくべきである。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料などの調査・研究を行った。

② その他調査

愛知県史編纂などにもとまう調査や学生の卒業論文作成のための調査などへの協力を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物などの発行

歴史民俗資料館年報第39冊発刊

「歴史民俗資料館パンフレット」発行

「歴史民俗資料館児童用パンフレット」発行

② 関連機関発行の印刷物などへの情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報第39冊については、県内の教育委員会や博物館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。近年、地域情報を掲載する地域誌

や他団体のホームページ運営者からの情報提供の依頼が増加しており、平成30年度も蟹江城や町内の祭りについての情報提供や写真提供を多数行った。情報を発信するためには、蓄積された情報や知識だけでなく、現状の把握も必要であり、そのための努力も惜しまないようにしたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	32人
「かにえ地域学」講座	6回	20人	21人
環境学習 エコきつず調査隊	4回	20人	23人
須成祭マイスター養成講座	10回	20人	15人
郷土体験学習会	4回	25人	4回計52人
文化財研修会	1回	80人	48人

② 出前授業

小・中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	時間	内容
平成30年7月6日(金)	新蟹江小学校	蟹江の町のうつりかわりについて
平成30年7月11日(水)	蟹江小学校	須成祭について
平成30年9月28日(金)	蟹江小学校	昔のくらしの道具① 昔の道具
平成30年11月8日(木)	新蟹江小学校	蟹江の郷土食について

〔点検・評価〕

平成30年度の講座全体の受講者数や出席率は29年度と比べてほぼ横ばいであるが、29年度が28年度に比べて大幅に増加したことを考慮に入れると、順調に推移しているといえる。講座内容を見直しながら継続してきた成果が現れているといえよう。歴史文化への関心が高まる中、今後も様々なニーズに応えられるよう努力を続けていくべきである。

4 文化財保護係

(1) 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録関連事業

ユネスコ無形文化遺産に登録された須成祭について、来場者増加に伴う祭り当日の雑踏警備、簡易トイレなど設置、交通案内などの対応をするとともに、平成30年度はユネスコ登録を契機に観光交流センター祭人がオー



プンしたことから、関係者を招待し祭りとともに施設を見学していただき、交流会を開催した。

・須成祭交流会

開催日 平成30年8月5日(日)

開催場所 観光交流センター祭人及び龍照院客殿

参加者 24人

(2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め6事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め22件

町費補助額：3,106,000円

(3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子などをまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成30年10月7日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、本町分、舟入、海門

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(5) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し、県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の研修や啓発活動を実施した。

〔点検・評価〕

須成祭のユネスコ無形文化遺産登録をきっかけに来場者は増加傾向にあり、29年度に引き続き祭り当日の警備などの対応を行った。また、須成祭を体感できる施設として観光交流センター「祭人」がオープンしたことから、朝祭当日に愛知県知事をはじめ県内のユネスコに登録された祭りがある自治体などの関係者を招いて見学していただき、交流会を実施した。

今後も観光交流センター「祭人」と連携をとりながら須成祭についての情報発信を行うとともに、町内の他の文化財などにも関心を持っていただけるよう、啓発していきたい。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
楽トレッチ教室	5回	40人	28人	蟹江町体育館分館
カローリング教室	3回	18人	18人	蟹江町体育館分館
合気道教室	4回	15人	10人	蟹江中学校武道場

〔点検・評価〕

各スポーツ教室について今後は、生き生きかにえスポーツクラブと連携し、住民ニーズを把握しながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

① スポーツ推進委員 任期 平成30年・31年度 18人

② 地区スポーツ協力員 任期 平成31年・令和2年度 43人

③ 各種講習会

・指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】体力テスト、ドッジボール、キンボール、カローリング、ラダーゲッター

・スポーツ推進委員各種研修会

【種目】体力づくり運動、体幹運動

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、スポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。よって、相互が連携し各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得。

・役員 理事 4人 監事 1人

・会員数 385人

・講座数 常時 16講座 特別短期 4講座

・イベント 4回 (伊勢神宮散策、キッズうんどうなど)

・交付金など 交付金 2,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

・16団体 1,174人 補助金 2,308,800円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・育成する。

・16単位団 団員553人 指導者135人 補助金691,300円

[点検・評価]

海部地区で2番目に設立（H22.3月）し、平成26年10月29日に法人格を取得した、総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」が設立9年目となった。会員数は横ばい傾向であるが、順調に運営されている。今後も、クラブ会員の増員を図ることや、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開の必要がある。

また、体育協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務などを生涯学習課から移譲することが課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 第14回ニュースポーツフェスティバル(民生部健康推進課共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立てる。

・開催日 平成30年9月2日(日) 参加者数 139人

・開催場所 蟹江中央公民館、蟹江町体育館

② 第38回蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。

・開催日 平成30年12月9日(日) 参加者数 459人

・開催場所 日光川ウォーターパーク

③ 第39回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。

・開催日 平成31年1月27日(日) 参加チーム 104チーム

・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親

睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 平成30年6月3日(日)開催場所 愛知県豊川市 69人
- ・開催日 平成30年10月28日(日)開催場所 岐阜県中津川市 49人

⑤ 愛知万博メモリアル第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・開催日 平成30年12月1日(土)開催場所 愛・地球博記念公園
- ・内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走
- ・出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・成績 町村の部 16町村中9位

〔点検・評価〕

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたウォーキングへの申込者は多くなってきている。蟹江町駅伝大会は、平成27年度より会場を新蟹江小学校周辺から希望の丘広場周辺に変更して行っている。ニュースポーツフェスティバルについては、今後もより多くの住民が参加したいと思うイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。表彰者 8人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。該当者 3人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会などの実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。年1回 5月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

## 6 女性対策係

### (1) 女性対策

#### 女性教育研修会

##### 蟹江町婦人会代表者研修

社会教育活動を推進するため、地域活動の担い手に対して社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得を行う。また、市町村を越えた情報交換の機会を設け、地域及び県域で社会教育を担う指導者としての資質向上を図る。

#### [点検・評価]

国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業などに参加した。  
また、政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、資質向上を図る研修事業などへの参加を求めている。

## 7 施設係

### (1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

#### ① 蟹江中学校夜間照明端子盤改修工事を実施した。

蟹江中学校夜間照明端子盤改修工事 980,424円

#### ② 生涯学習施設をPRし、使用方法などを周知し、より一層の利用促進を図った。

#### ③ 町内の小・中学校の屋内、屋外体育施設（学校体育施設）を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。

#### [点検・評価]

蟹江中学校夜間照明端子盤の経年劣化や鳥類の巣による漏電の危険性があったため、端子盤の改修工事を行った。

また、生涯学習施設は全体的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要であるため今後、改修計画などを立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。